

第1章 近代国家へのあゆみ

近江八幡市立八幡中学校 小林 美希
滋賀県教育委員会事務局 久保田重幸

1 単元を貫く問い

- ・明治維新の政策によって、社会はどのように変化したのだろうか。

2 育成したい資質・能力

- ・富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
- ・幕藩体制とのちがいや諸政策の目的、諸外国との関係などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことについて多面的・多角的に考察し、表現している。

3 単元の流れ

【第1次】明治維新（1時間）

- ・幕藩体制と比較し、新政府がめざした政治の方針の意図について、学習した諸政策をふまえて考え、表現する。
- ・明治新政府が示した方針に基づいて、廃藩置県や四民平等などの様々な改革を行ったが、徹底されていない部分も存在したことを理解する。

《主な内容》

- ・新政府の成立、廃藩置県、身分制の廃止と四民平等

【第2次】**本時** 殖産興業と富国強兵（1時間）

- ・官営模範工場建設などの殖産興業政策や徴兵令、地租改正の内容とそれぞれの目的について理解する。
- ・新政府が富国強兵政策をすすめて近代国家建設を急いだ理由について、殖産興業・徴兵令・地租改正の内容をふまえて考え、表現する力を養う。

《主な内容》

- ・殖産興業、国民皆兵と徴兵令、地租改正等

【第3次】文明開化の展開（1時間）

- ・学制や文明開化にみられる生活の近代化について、現在の私たちの生活に伝わっているものを挙げながら理解する。
- ・明治政府が文明開化をすすめた理由について、江戸

時代の思想・教育と比較して考え、表現する力を養う。

- ・国民皆学と学制

《主な内容》

- ・国民をつくる、さまざまな文明開化

【第4次】**詳細**「滋賀県で実施された政策のうち、新しい国をつくる上で有効であった政策について考え、表現しよう」（2時間）

- ・滋賀県に関わる資料から、歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
- ・自らが生活する地域への関心を持ち、近代の日本に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

《主な内容》

- ・滋賀県の誕生、滋賀県会の設置、区制の開始
戸長の設置、小学校の設立、彦根製糸場の設立 等

4-1 本時（2/5時間目）

主題 殖産興業と富国強兵～欧米諸国に対抗するために

《本時の目的》

- ・国内経済の活性化により国力をつけるための殖産興業、近代的な軍隊をつくるための徴兵令、政府の財政を安定させるための地租改正であったことを理解している。
- ・政策の内容から、列強諸国に対抗し、植民地化を免れようとしたことを考え、表現している。
- ・歴史公文書を読み取り、新政府の新しい政策が地方（滋賀県）まで広がっていたこと（中央集権国家）に気付くことができる。

【導入】殖産興業が彦根まで広がっていたことに気付く。

【発問】「どんな人々が働いているのだろうか？」（写真1）

*多くの女性が働いていることに気付かせる。

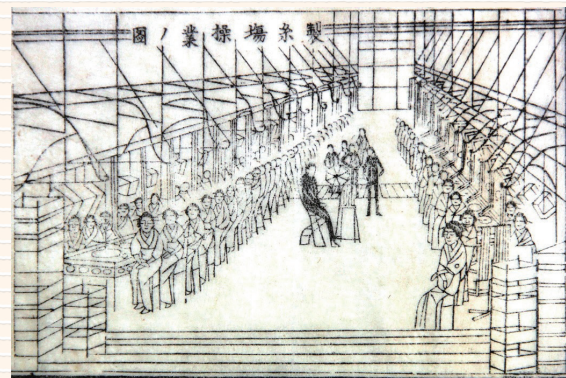


写真1 製糸場操業の図

明治14年1月『犬上郡誌』【資389】記念誌p.61

【展開1】 政府が進めた殖産興業政策の内容をとらえる。

【発問】「殖産興業はどのような政策だったのだろうか？」

*富国強兵のための各種政策の一つが、経済を成長させ国を富ませる殖産興業政策であることをおさえる。

【発問】「彦根製糸所の規則書を読んでみよう。」(写真2)

*どんな人が、どのような仕事をしていたかを読み取る(資料に○をさせる)。

《キーワード》

婦女 器械 製糸 富岡製糸所(場) 営業 養蚕

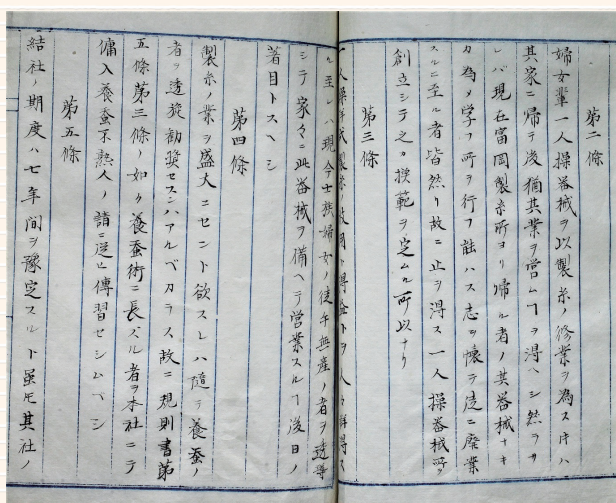


写真2 彦根製糸所規則書
明治9年7月29日【明さ100(1)】記念誌p.59

【展開2】 徴兵令の内容をとらえる。

【発問】「どのような人が兵役に課せられたのだろうか？」

*欧米諸国に対抗できる近代的な軍隊をつくるために、徴兵制は必要な政策であったことをおさえる。

【展開3】 地租改正の目的や内容をとらえる。

【発問】「地租改正で農民の税負担はどのように変わったのだろうか？」

*収入を安定させ、財政の基礎を固めることが政府にとって緊急の課題であったことや、農民の税負担の変化をおさえる。

【まとめ】 政府の近代化政策の目的をまとめる。

*富国強兵政策をおし進めたのは、欧米諸国に対抗するためであったことをおさえる。(小林)

4-2 詳細(4,5/5時間目)

主題 滋賀県で実施された「近代化政策」のうち、有効であった政策について考え、お互いの意見を交流しよう。

《本時の目的》

- ・滋賀県に関わる資料から、歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
- ・滋賀県への関心をもち、近代の日本に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

1時間目 調べ学習

【導入】「滋賀県の誕生」について理解する。

*滋賀県は1872年に誕生し2022年で150周年となること、その後、新しい国づくりに向けて様々な政策が実施されたことを理解させる。

《学習課題》

- ・明治初期の滋賀県で実施された政策について調べよう。

【展開】 明治初期の滋賀県で実施された、A～Dの政策について発表カードにまとめる。1人1政策を分担する。

- A.滋賀県会の設置 B.区制の開始・戸長の設置
C.小学校の設立 D.彦根製糸場の設立(各8名)

《関連資料》

- A.県会開設の布告 B.区制開始の布達
C.立校方法概略 D.繰糸場縮図 等

*カード作成の際には、①政策名、②政策に関連する公文書館等の資料、③政策の内容等を明記するよう指導。

【まとめ】 本時の「まとめ」と「振り返り」を記入する。

2時間目 意見交流会

【導入】 意見交流会のねらい、流れについて理解する。

《学習課題》

- ・明治初期の滋賀県で実施された政策のうち、新しい国をつくる上で最も有効であった政策について考え、お互いの意見を交流しよう。

【展開】 発表カードを用いて、意見交流会を行う。

*交流会の進め方について説明する。

- ・4名(A～Dより1名ずつで構成)×8班
- ・各班では、発表(2分)、意見交流(2分)を行う。(4分×4名=16分)
- ・発表の際には、発表カードを用いて説明する。
- ・発表を聞く際は、必ずメモを取る。

【まとめ】 学習課題に対する自分の考え、「振り返り」、今後の学習で追究したい課題について記入する。

(久保田)